



生野区学校統廃合による 子どもたちの教育環境と まちづくりを考えるつどい

7月6日(土) 午後2時～



市営生野東住宅集会所

生野区生野東
4-1-11



【テーマ】

先生が足りない これでは学校がもたない
学校に希望を！ みんなで考えましょう

【講師】宮城 登さん 中学校教員

【会場発言】小中学校先生、高校先生、保護者、町会役員、地域見守り隊

- 万博—工事現場で爆発事故、子ども参加に不安。
 - 万博に学校行事として児童・生徒を参加させる意向調査の結果はどうなっているの。生野区は。
- 生野工業高校をなくして、モノづくり、避難所は。
 - モノづくりのまち大阪、生野区はどうなるの。生徒たちは。
 - 地域の避難所がなくなる、対策はどうするの
 - ・生野工業の災害時受入人数は790人(林寺、生野、西生野)
- 学校統廃合で、教育環境が心配です！
 - 6年生は夢を語る卒業式がない、修学旅行もない。
 - 危険な通学路、保護者が毎朝、同伴で登校。
 - こどもたち、教室はぎゅうぎゅうづめ。
- 小学校跡地は地域のコミュニティの核です！

生野区学校統廃合による子どもたちの教育環境とまちづくりを考えるつどい実行委員会

連絡先 室谷：080-3835-1390